

様式（第9条関係）

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	第47回益田市行財政改革審議会
開催日時	令和8年1月28日（水）13:00～14:30
開催場所	益田市役所本館3階 第1会議室
出席者	<p>[審議会委員] 光延忠彦委員、西村延剛委員、三好悦子委員、 澤江佑三委員、岡崎光敏委員、細木聖師委員、 澄川裕美子委員、土佐玲子委員、須山成顕委員</p> <p>[事務局] 政策企画局長 長嶺勝良、政策企画課長 齋藤秀樹 政策企画課 DX推進室長 岩田桂子 主任主事 高橋涼</p>
議題	<p>(1)「益田市行財政改革取組方針」に基づく取組状況 ①令和7年度における行革の取組について …資料1、資料2</p> <p>②「益田市行財政改革取組方針」の改定について …資料3</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
問合せ先	政策企画局政策企画課 電話：0856-31-1066

審議経過

<p>議事</p> <p>1)「益田市行財政改革取組方針」に基づく取組状況 ①令和7年度における行革の取組について …資料1、資料2</p>
<p>令和7年度における行革の取組状況について、資料1、資料2により報告し、ご意見をいただく。</p> <p>(いただいたご意見とその回答の概要は次のとおり。)</p> <p>[DXの取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全庁的なDXの取り組み状況はどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 今年度もDDXプロジェクトを引き続き行っており、各課から改善提案があるため、前向きに取り組んでいるものと考えている。 ● DDXの課題について145件中対応済みが42件とあるが、この課題はいつまでに解決していくのか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 資料の数値は昨年度末の報告件数。これに今年度新たな課題を加えて取

り組みを実施している。優先的に取り組む課題を決めてもらい、年度末を目途に取り組みを実施している。

- DDX の進捗状況把握はどうしているか。中間管理をし、進捗管理の見える化をしてはどうか。
 - 来年度の取り組み時には中間状況の把握を検討したい。
- 福祉分野では DDX でどういった取り組みをしているのか。
 - 子ども家庭支援課を例に挙げるとでは昨年度、情報共有の効率化、ペーパーレス化の取り組みを実施していた。
- 課題について開示が可能であれば、課題への対応策など意見が出てくると思う。
 - 事例を踏まえて検討する。
- 生成 AI の導入研究について、具体的にはどういったことをしているのか。
 - 有料、無料を問わず生成 AI を導入している自治体の状況調査
 - 生成 AI サービスの事業者の方から話を聞いたりする中で、益田市に最も適した AI のサービスの研究。
 - 導入に当たってガイドラインの策定に向けた研究。
- アナログ規制の見直しをした場合、住民側についていけない方が出てくるのではないか。
 - 基本的に全部がオンラインでしかできないというものではない。まずはデジタルを許容する形を目指し、その後にデジタル化をするように段階を経て進んでいくような感じで考えている。

[内部統制の取組]

- 内部統制評価資料の運用上の不備 49 件の具体的な内容は何か。
 - 契約内容の誤り・・・2 件
 - 支出関係で支払遅延や支払先の誤りなど・・・10 件
 - 事務管理関係でデータの入力誤りと確認不足に関するもの・・・13 件
 - 業務スケジュール管理の不備・・・3 件
 - システムへの入力等の誤り・・・1 件
 - 送付書類の誤り・・・1 件
 - 通知書の送付誤り・・・1 件
 - 住民対応に関しては不十分な説明であった・・・1 件。
 - 事故として無届工事・・・1 件
 - 公用車の事故等・・・15 件
 - NHK の受信契約の未締結・・・1 件

②「益田市行財政改革取組方針」の改定について…資料3

「益田市行財政改革取組方針」の改定について、資料3により説明し、ご意見をいただく。

(いただいたご意見とその回答の概要は次のとおり。)

- 現状と課題にあるが、財政健全化により人口減少と少子高齢化が改善するのか。
 - 財政の健全化で人口減少と少子高齢化がクリアできるということではない。人口が増えていかない状況の中で、税金としての収入というものはなかなか増えていかない。そういった視点で常に健全な財政を目指しすという意図である。
- デジタルとアナログとの二本立てですることにより、メリットよりデメリットが大きいのではないかと思うがいかがか。
 - 益田市独自というよりは、国がデジタル化の方向に進んでいる中で、益田市だけはデジタル化しないとはいえない状況である。職員一人一人混乱しているという部分は、多分にあると思う。
- ペーパーレス化を進める中で、市政情報の中で法的に残さなければいけない書類の最長の期間はどれくらいなのか。
 - 「永年」保存がある。
- 記憶媒体で一番優れているのは、100年以上残る紙である。デジタルの記憶媒体では最大限残せるのが50年程度。しかし、紙で残すと膨大な量になってしまうので、その点はデジタルに優位性がある。そのあたりを整理しながらペーパーレス化を図るのが良いのではないか。
- 情報発信の強化の取組の具体例は。
 - 今年度新たな取組としては、Instagramを広報で始めた。益田市のいいところを発信する「ええとこますだ発信隊」を任命し、発信を強化している。
- 取組方針が市民に公表されるものであれば、具体的な取組事項についてわかりやすい表記にすると良いのではないか。
- 英語表記については、日本語表記を併用するなどすると良いのでは。
 - 注釈を追加する。

◇次回審議会開催予定

次回開催予定は令和8年5月頃を予定。